

桑崎貴弘副議長

ここで市長より総括的な講評をいただきます。

佐藤栄一宇都宮市長

議長，市長

桑崎貴弘副議長

市長

〔佐藤栄一宇都宮市長 登壇〕



ジュニア議員の皆様，大変お疲れさまでした。

また，このジュニア議会の開催にあたりまして，多くの方々にご協力を賜りました。各学校の先生方，保護者の皆様，そして，社団法人宇都宮青年会議所の皆様方，本当にありがとうございました。

ジュニア議員の皆さん，素晴らしい質問ありがとうございました。皆さんお一人お一人の姿を拝見していて，私が家族であれば涙を流すくらい素晴らしいものでございました。心から敬意を表したいと思います。

先ほど冒頭でもお話をいたしました，魅力あるまちをこれからつくって，宇都宮にこれからも住み続けたい。そして，移り住んでみたい，そういう街をつくっていくことが必要だというお話をさせていただきました。まさに，議員の皆さんからご提言いただいたことを一つずつ実現すること，それこそが魅力ある宇都宮をつくっていくことだと思います。

高齢者の皆さんや交通弱者と言われる方々へのLRTを含めた公共交通網の確立，あるいは，環境に優しいまち，また，犯罪に強い安全で安心をして暮らせるまち，そういう魅力ある一つの政策を持って，これからつくっていかねばならないと，強く決心をしたところでございます。

当然のことながら，限りある予算の中では，すべてを実現することはできません。実現にあたっては，予算に頼らないところも必要です。それには，当然のことながら市民の皆さんのご協力，つまりは，市民協働の社会が必要になってきます。何から何まで行政に任せるのではなくて，自分たちでできることは自分たちでやる，あるいは，地域の中でできることは地域の中できちんと行っていく。それは，地域の特色を生かした，地域の実情にあったまちづくりにもつながります。

家の前の道路が汚れているから，あるいは，公園が汚いから市役所に電話して掃除をしてもらうという時代は終わってしまいました。自分たちでできることは自分たちで行う。自分たちが使う地域の公園は，自分たちで清掃をする。そういう市民協働の社会もあわせて確立をしながら，より効

率の良い予算を執行していかなければならないと思っています。是非、皆様方にも、そういうところもご協力やご理解をいただきたいと思います。

一つお願いがあります。皆さんもご存知のように、これからの時代は厳しい時代、生きていくうえで障害がたくさんある時代となっていきます。銀行が倒産をしてしまう時代です。また、大変悲しいかな、親が子を、あるいは子が親を殺めるという、そんな情けない事件、あるいは、尼崎の電車の脱線事故。どれもこれも人間がなしたわざであります。そのような悲しい事故、つまりは日本人の人間力がだんだん低下をしてきてしまった。そんなことが感じられる日が続いています。これからおそらく皆さんが生きていく 21 世紀には、さまざまな苦難が待ち受けていると思います。そういったものを乗り越えてたくましく生きていただきたいと思いますが、そのためには、やはり自分の人間力、己の人間力を是非高めてください。

人間力を高めるためには、やはり我慢をすることが大切です。こうして緊張するけれども我慢をして議会に望む。あるいは、我慢をして、つらいけれども勉強をする。昨今のニュースの中にもありましたが、日本人としては 5 人目の宇宙飛行士野口聡一さんが宇宙から帰って来られました。351km という上空、宇宙から帰還をされたわけでございます。おそらく、野口さんも宇宙飛行士になるという、大きな大きな夢の実現のためには、己の人間力を高めたのに違いありません。当然のことながら懸命に我慢をして、特訓に耐える、あるいは、勉強を我慢しながら続ける。そうした我慢を続けてきたからこそ、自分の人間力を高めることができ、自分の夢、宇宙飛行士になって宇宙に飛び出すという夢を実現することができました。是非、皆さんには、夢に向かってたくましく生きるためにも、人間力を高めていただきたいと思います。

最後になりますけれども、是非、皆さん、これから暑い日が続きますけれども、残りの夏休みを有効に使ってください。ありがとうございました。お疲れさまでした。